※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	家庭科 55 資料集　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・講義形式と実習の両方の授業を行います。調理実習では，日常の食生活のなかで心がけるポイントを知り，それを実践できる力を養います。被服実習では，布の扱い方・ミシンの扱いや刺し子の技法について学び作品を製作します。
・講義では教科書と資料集を使いプリント学習を行います。板書を写すだけでなく，授業のポイントや気付いたことを記入することで評価が高くなります。
・体験学習やグループワークを取り入れ，より実践的な態度を養います。周りの人と協働しながら自分を表現し，他者の意見を聞くことで視野を広げる機会を設けます。

２　学習の到達目標

ａ：生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。ｂ：生活課題を見出して課題を設定し，その解決に向け思考し，適切に判断することができる。ｃ：主体的に生活課題を解決するとともに、自分や家庭・地域生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と衣食などに関する基礎的･基本的な知識･技能を身に付けている。	人の一生と衣食などについて生活の充実向上を図るための課題を見出し，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と衣食などについて関心をもち，その充実向上をめざした主体的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第7章	1　被服の役割を考える 2　被服を入手する	a:衣生活に関心を持ち，人間と被服，気候と被服の関わりを考えようとしている。 b:　各ライフステージに適した衣服の役割，適切な着装，衣生活の管理について考えを深めている。 c:衣生活に関心を持ち，正しい被服の着装を理解した上で，生活に活かそうとする姿勢がみられる。	定期テスト 提出物	定期テスト 提出物	振り返り
		4　被服をつくる	a:衣服製作実習を通して，材料の選択，基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ，エプロン・巾着袋・三角巾の製作ができる。 b:　完成した作品に刺し子を施すことにより，自分らしさを表現することができる。 c:　被服実習においては，制作活動に意欲的に，とりくもうとしている。	定期テスト 提出物 被服実習	定期テスト 提出物 被服実習	観察 振り返り
		3　被服を管理する	a:手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう，管理や手入れの工夫について理解する。 b:　環境に配慮した衣生活について考え，実践できる力を身につけるために，被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。 c:衣服の表示にはどのような種類があるのか，なぜついているのかを理解し，購入から洗濯などの管理に役立てようとする。	定期テスト 提出物	定期テスト 提出物	振り返り
		5　衣生活の文化と知恵 6　これからの衣生活	a:現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために，日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り，日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。	定期テスト 提出物	定期テスト 提出物	振り返り

※令和４年度以降入学生用

			b: 現在の衣生活をとりまく状況について，自分の衣生活を振り返りながら，課題を導き出すことができる。 c:次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために，資源の消費の視点で自分自身の衣生活を振り返ることができる。			
2学期	第6章	1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食品の選択と安全	a: よりよい食習慣を身につけ，生涯を健康に過ごすために，食生活の課題や食事の意義，食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 b: 食品成分表を活用して栄養計算し，食生活の問題点を考えようとしている。食品表示の読み方を理解し，情報を正確に把握する。食品を見分け，よりよい選択ができるようにする。 c:自分自身の食生活について関心をもつとともに，自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期テスト 提出物	定期テスト 提出物	振り返り
		4 生涯の健康を見通した食事計画	a:自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために，栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について，科学的な理解を深める。 b:食事摂取基準や食品群別摂取量の目安について，家族や自分の食生活と関連させて考え，食生活の課題を調査してまとめたり，発表している。 c：普段の食事に興味を持ち，家族や自分自身にとって栄養バランスのよい献立について考えることができる。	定期テスト 提出物	定期テスト 提出物	振り返り
		5 調理の基礎	a:食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために，調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。配膳やマナーに関心を持つ。〃 b: 栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら，家族	定期テスト 提出物 調理実習	定期テスト 提出物 調理実習	観察

※令和４年度以降入学生用

			の献立を作成することができる。 c: 調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。			振り返り
3学期	第6章	6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	a:郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために，日本の食文化の特徴を確認する。世界の食文化に関心を持ち，私たちの食生活への影響について理解する。 b:自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために，安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し，広い視野で食生活について考える。 c:食生活全般に関心を持ち，これからの食生活や食を取り巻く環境の改善に役立てようとする。	定期テスト 提出物	定期テスト 提出物	振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度